学校番号	１０００１

令和５年度　　理　科

教科	理科	科目	物理 （物理－２）	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	改訂　物理（東京書籍）						
副教材等	改訂　スタディノート物理（第一学習社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・物理現象を理解しやすくするために，視聴覚教材を取り入れながら授業を行う。
・実験は周りの人との協働しながら取り組み，理解したことを数式やグラフなどで表現する。
・問題演習に多く取り組むことにより，学習内容の定着を図る。
・確認テストを定期的に行い，理解度を確認する。
・理解を深め，学習内容を定着させるには，十分な家庭学習を必要とする。

２　学習の到達目標

・物理的な事物・現象に対する探求心を高める。
・目的意識をもって観察・実験などを行い，物理的に探求する能力と態度を見につける。
・物理学の基本的な概念や原理・法則を理解し，科学的な自然観を見につける。
・科学技術の在り方について意思決定するために必要な，科学的な見方や考え方を身につける。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:観察・実験の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	電気と磁気や原子などの物理現象について，日常生活との関連を知り，興味・関心を高め，探求しようとする意欲を，具体的な行動で示している。	電気と磁気や原子などの物理現象について，基本となる原理や法則を推察し，文章や数式，グラフなどから，事実に基づいて，科学的に判断する。	電気と磁気や原子などの物理現象について，探求するための実験・観察の方法を説明できるとともに，それらを実際に行う技能を身につけ，自らの考えを的確に表現する。	電気と磁気や原子などの物理現象についての基本的な概念や原理・法則について，体系的に理解し，知識を身につけ活用できている。
評価方法	実験レポート ワークシート ノート	実験レポート ワークシート 確認テスト 定期考査	実験レポート 確認テスト 定期考査	確認テスト 定期考査

上に示す観点に基づいて，学習のまとまりごとに評価し，学年末に５段階の評定にまとめる。
学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し，評価する。

4　学習の活動

月	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4月	電気と磁気	電界と電位	○	○	○	○	a:電気と磁気について関心を高め，探求しようとする。 b:電気と磁気について基本となる原理を推察し，文章や数式などで表現している。 c:電気と磁気を探求するための実験技能を身につけている。 d:電気と磁気について基本的な概念や原理・法則体系的に理解し，知識を身につけている。	確認テスト 実験レポート ワークシート ノート 定期考査
5月		電流 電流と磁界	○	○		○		
6月		電磁誘導と電磁波	○	○	○	○		
7月	原子	電子と光	○		○	○	a:原子について関心を高め，探求しようとする。 b:原子について基本となる原理を推察し，文章や数式などで表現している。 c:原子を探求するための実験技能を身につけている。 d:原子について基本的な概念や原理・法則体系的に理解し，知識を身につけている。	確認テスト 実験レポート ワークシート ノート 定期考査
8月		原子と原子核	○	○		○		
9月								

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:観察・実験の技能　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが，学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。